



「さっぽろっ子環境ウィーク」における SDGsアクション

宣言

「身近な資源の再利用を！」

「自分たちができることからエコ活動に取り組もう」という意識を高めるために、身近な資源を可能な限り無駄にせず、使わない資源は再利用する活動を進めます。

12 つくる責任
つかう責任



計画

【リングプル回収】



生徒会が中心となり、リングプルの回収を行います。

長期休業明けに「リングプル回収 week」を設定し、各学級に回収箱を設置して呼びかけを行ったり回収量を周知したりする等、エコ活動に対する意識を高めるための取組を行います。

また、宣伝のために動画を作成して校内放送を行い、回収量に合わせて車椅子を寄付できること等を周知することで、活動意欲を高めます。

12 つくる責任
つかう責任



【生徒会室の物品整理・再利用】

長い歴史をもつ本校の生徒会室には、代々引き継がれてきた多くの消耗品や備品がありました。昨年度に続き、生徒会室を整備し、全校の皆さんに消耗品や備品を活用してもらう取組を実施します。学校祭準備や、学年協議会、部活動などで使用してもらい、新たな物品を無駄に購入せず、今ある資源を最後まで活用します。

2 無駄を
ゼロに



【給食の残食量を減らす取組】

昨年度、栄養教諭に残食量の調査を依頼したところ、月寒中全体として給食の残食量が多いことが分かりました。その結果から、生徒会事務局で呼びかけや放送によるPR活動を行い、実施前後で残食量を減らすことができ、フードロスに対する意識も高めるきっかけとなりました。昨年度に続き、残食量を減らす取組を実施します。

SDGs アクション

リングプル回収では、各学級に呼びかけるとともに目的や回収量の周知を行い、目標回収量を達成することができました。

生徒会室の物品は、昨年度以上に多様な場で活用され、新たな物品を余分に購入せずに今ある資源を活用することができました。

給食については、生徒会事務局で呼びかけや校内放送を行い、準備を早めて食べる時間を確保することを促すとともに、メニューについての知識等、食への意識を高めるPRを行いました。その結果、残食量は増加せず、さらなる減少傾向にあります。

次年度の取組に向けて

次年度も新たなアイデアをもちながら、生徒会事務局を中心に全校生徒がより興味・関心をもって取り組めるよう工夫して活動していきます。